

# 令和5年度使用教科書の採択結果及び採択理由一覧

大阪教育大学附属池田中学校

令和5年4月1日現在

科目	発行者の略称	採 択 理 由
国 語	教出	国語科の目標に即して内容が適切に取り上げられている。「目標」や「振り返り」、学習の進め方や重点をまとめた「みちしるべ」が示されており、学習活動の中で生徒が見通しを持って主体的に学習を進める手助けとなる。各教材後に適切な言語活動が組み込まれており、「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」がバランス良く育つよう各単元が設定されている。メディアの教材が工夫されている。
書 写	教出	様々な習字活用場面を具体的に想定した学習活動が組み込まれている。文学作品や古典を手本とした語句・詩文が適切に選定されている。また筆遣いのポイントを記号・点線、色分け等工夫して視覚的にわかりやすく表現している。総じて生徒が学習内容を確認しやすく、実生活にも生かせる教材となっている。
地 理	帝国	各章ごとの冒頭にその章を象徴するような図版が用いられている。これにより地理的分野の学習において重要な「地域を大観する」ことが容易にまた効果的に行える。資料においては生徒が資料を用いて地理的特性を理解するための資料が多く、学びを深めるとに対して非常に有効である。また各地域ごとのつながりを大切にしている教材が多く、生徒が深く考える際にヒントとなる工夫がなされている。
歴 史	帝国	史資料、説明文、補足などの分量が適切であり、網羅的になることの多い歴史的分野の学習を様々な視点から行うことができる。各章のはじめには、時代を象徴する町並みの様子が掲載されており、その時代の特色をとらえる資料をもとに授業を展開することができる。また巻末の資料には日本と世界の時代を見比べながら学習を進めることができ、多角的な視野を持って学習を深めることができる。
公 民	帝国	現代社会を多角的・多面的に考察できる資料が多く掲載されていることで、授業の学びを深め、自分の考えを構成する手助けを行うことができる。またディベート教材やレポートの作成のみならず復習を行うことができる教科書と判断でき、現代の諸問題との関連付けを行いながら学習を深めることができる。
地 図	帝国	地形図のみならず、様々な手法を用いた地図が多く掲載されており、また模式図やグラフなど学習のサポートとして使用できる資料も数多い。地理的分野のみならず、様々な社会的事象を捉える場面も多くあり、資料を用いた深い学びの手助けにもなる教材として、三年間使用する地図としてふさわしいと判断した。
数 学	日文	例題の解説が丁寧である。他から発行されている教科書も補助教材が充実しており甲乙つけがたい部分もあるが、今まで長く使用してきた分、使い慣れており授業が進めやすい。本校の授業の進め方にあっている。
理 科	啓林館	各単元内の配列が、本校で考える授業の流れに即しており、授業に用いやすい。また、写真や図、資料が充実しており生徒の主体的な学びに適しており、参考資料としても使用しやすいと考えた。
音 楽	教芸	基礎的な楽曲から深く味わうことのできる楽曲まで幅広く掲載されており、文字とイラストや写真とのバランスが良く、楽曲のイメージが捉えやすいように工夫されている。
器 楽	教芸	資料が豊富で生徒にとって分かりやすく提示されており、各楽器の特徴を構造的に捉えつつ、奏法を技術とともに理解できるように構成されている。

美術	光村	写真・図版の大きさが見やすく、レイアウトが良いため、生徒の興味・関心の向上が期待できる。基礎的な知識を身に付け、表現へと発展させる構成になっているため、生徒が深く理解しながら学習を進められる内容になっている。また、図版によって紙の種類が変えられており、作品における素材の重要性についての深い思考が期待できる点や、近年の日本のデザインの傾向が簡潔にまとめられている点も良い。
保健体育	東書	補助教材などが充実している。デジタルコンテンツなども豊富にある。
技術	東書	技科の目指している問題解決的な学習に重点が置かれており、社会的・経済的・環境的側面に関する記述もしっかりとされている。社会での問題解決の例や技術科における見方考え方のアプローチもあり、IB的な考え方にも則している。写真や図も見やすく情報量も適切だと考える。思考ツールなどの施行を可視化する新しい取り組みも入っており、現行の学習指導要領が目指す方向性に最も沿っていると考えられる。
家庭	東書	写真やイラストが一新され、非常にわかりやすくなっている。巻末の防災手帳など、生活に役に立つ工夫がされている。要所所でUDフォントを使っていてユニバーサルなデザインである。また、持続可能な社会の構築を目指し、課題解決を考え生活を工夫する学習がすべての単元にうまく取り入れられている。エシカル消費やSDGsなど、これからの社会を構築するのに大切な視点を押さえている点が良い。
英語	三省堂	「見通しを立てる→知識技能を習得する→知識技能を活用する→学習を振り返る」というように学習者が主体的に学ぶための工夫がされている。またペアやグループで学習や練習をさせる工夫(協働学習)がされており、本校の生徒にとって適した教科書であると判断した。また、話すこと(やりとり)の活動がしやすい構成になっている。
道徳	東書	巻末のふりかえりワークシートが評価に使いやすい。道徳ノートが付いていないので、ノートにとられることがない。見やすく、教材のバランスも比較的よい。デジタルコンテンツなども豊富。